

かいたく

教会のない地域に教会を 剖り入れ場に働き人を



上田聖書バプテスト教会 新会堂

あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖靈の宮であります。あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。あなたがたは、代価を払つて買い取られたのです。ですから自分のからだをもつて、神の栄光を現しなさい。

(コリント六章十九～二十節)

先日、学校にタイムカードを導入してはという記事が新聞に掲載されました。職場には当たり前のように導入されているタイムカード（手書きの場合もある）が、学校ではなく、中学校の先生の中には、百時間を超える残業があると聞いています。学校の先生と牧師や伝道師の共通点は、使命感かと思います。そして、使命感が優先される職場は、給与や就業時間などの改善が後回しにされやすいと思います。

先回から健康管理のコラムを掲載しています。牧師や伝道師の中には、普通の職場にはある定期検診制度がなく、また、収入面から人間ドックだけではなく、医者にかかることを躊躇するケースもあります。開拓教会の先生方の中には、極力アルバイトを抑えて牧会と伝道に多くの時間を費やそうと心掛けるあまり、信じられないほどの低所得で生活をしている方がいます。

どうか、あなたの教会の牧師や伝道師、また開拓教会（小さな独立教会も含め）の先生方の収入・労働時間・健康管理・生活環境などへも関心を寄せていただきたいとこの紙面をお借りしてお願ひいたします。

新会堂献堂

～主が成し遂げて下さった恵み～

上田聖書バプテスト教会 小川 淳司



2017/09/18 14:34



旧会堂最後の主日礼拝

にも、
のトラブルを避けるため
り、50年後
に戻して返還する
のが原則です。後

このたび、私たち伝道所上田聖書バプテスト教会は、新会堂という大きな恵みを主からいただきました。祈り支えて下さった全ての方々の愛への心からの感謝と合わせて、その恵みの一部を証しさせていただきます。

事の発端は、2015年6月に、賃家の旧会堂が取り壊しになるという連絡を上田市から受けたことです。この会堂は、国内宣教師兼牧師であった上田晃先生とともに、2年程かけて探しで与えられた物件で、地方鉄道別所線の駅前という大変良い立地条件にありました。別の賃貸物件を探して再スタートということも考えられますが伝道所の場所は、どこでも良いというわけではありません。今集つている方々も、高齢の方も含めて近所から来られています。どうすべきか、スタッフで心合わせて祈りました。

そこで、導かれたのは、この土地が更地になつた後に、その地をお借りして会堂を建てられないかという考え方でした。さつそく旧会堂の敷地の所有者でもある大家さんに尋ねたところ、後日、承諾のお返事をいただいたのでした。それにしても、法律に基づく定期借地権による土地の賃貸は長きに及ぶものであ

り、50年後
に戻して返還する
のが原則です。後

て、導かれた物件で、地方鉄道別所線の駅前という大変良い立地条件にありました。別の賃貸物件を探して再スタートということも考えられますが伝道所の場所は、どこでも良いというわけではありません。今集つている方々も、高齢の方も含めて近所から来られています。どうすべきか、スタッフで心合わせて祈りました。

そこで、導かれたのは、この土地が更地になつた後に、その地をお借りして会堂を建てられないかという考え方でした。さつそく旧会堂の敷地の所有者でもある大家さんに尋ねたところ、後日、承諾のお返事をいただいたのでした。それにしても、法律に基づく定期借地権による土地の賃貸は長きに及ぶものであ

た。手づくりの会堂用献金箱が設けられましたが、子どもが献げた10円から始まりました。同じ頃、牧師の父が末期がんの病を患つたため、身辺整理をしてまとまつた献金を会堂のために上げたいと言つてきました。最初で最後の父の奉仕でした。母教会の名古屋教会でも、伝道所が心を決めて動き出した中で、主のわざに共に参与するためには大きな献げものが決議され、祈りが積まれました。国内宣教師の働き、教会の兄姉、また多くの諸教会からの尊い献げものが献げられ、遠方の教会でも、我が事のように祈り続けて下さつたことは大きな励ました。地元

建てられるのかも、当初は全く見通しが立ちませんでした。糾余曲折もありましたが、最終的に、ここに会堂を建て、伝道の働きを進めていくのだという決心に導かれました。この時、一歩踏み出させてくれたのは、「あなたが成し遂げて下さる」（詩篇三十七章五節）のみことばで、その後会堂建築を進めてく中で、乗り越えなければならぬ困難や、障害に出会うたびごとに励まされ続けました。

資金の課題も、当初から明らかでした。手づくりの会堂用献金箱が設けられましたが、子どもが献げた10円から始まりました。同じ頃、牧師の父が末期がんの病を患つたため、身辺整理をしてまとまつた献金を会堂のために上げたいと言つてきました。最初で最後の父の奉仕でした。母教会の名古屋教会でも、伝道所が心を決めて動き出した中で、主のわざに共に参与するためには大きな献げものが決議され、祈りが積まれました。国内宣教師の働き、教会の兄姉、また多くの諸教会からの尊い献げものが献げられ、遠方の教会でも、我が事のように祈り続けて下さつたことは大きな励ました。地元



起工式

群れが、どのような会堂をつくりと思われることは「主が成し遂げてくださった」という感謝です。「主が家を建てるのでなければ建てる者の働きはむなし」（詩篇一二七篇一節）とのおことばが思い起こされます。主と主のおことばにゆだねるということは、どんな事があつても望みを捨てないことを教えられました。こんなに小さき群れに主が恵みを賜つたのは、ただ主の御名が崇められるためと確信します。



新会堂内部

教会は、キリストの満ち満ちた身たけにまで成長することが求められています（エペソ四章十一～十六節）。そうであれば、子供が大人へと成長するように、私たちも遣わされた教会から遣わす教会へ、すなわち、子なる教会を生み出す教会を目指したいと思いま

す。私は、主の約束のみことば（使徒一章八節）に基づいて主の証人として上田から信州へ、

さらにもつと遠くへと、福音を伝える働きにますます参与していきたいと願っています。まずは、独立教会へ向けて具体的な目標を立てて、再出発すべく祈り始めました。今後も、皆さまのお祈りに覚えていただければ感謝です。



教会前の上田原交差点



新会堂最初の主日礼拝



教会前の上田原交差点



新会堂最初の水曜夜集会



玄関前

教会独立の証し

千葉ニュータウン聖書バプテスト教会
神田 典幸

千葉ニュータウン聖書バプテスト教会の独立の証しをさせていただく恵みを感じ謝致します。

千葉ニュータウン教会のある印西市は千葉県北部の北総台地にあり、東京のベットタウンとしてニュータウンの開発がされています。2001年春に神田伝道師夫妻が主の導きをいただき、佐倉聖書バプテスト教会の伝道所として開拓伝道が始まりました。千葉ニュータウンは法律による規制があり、土地利用計画に基づき、利用目的が定められており、教会が入りにくい地域です。宅地では工事完了公告の翌日から10年間は看板を掲げることができません。開拓当初、集会所を探しておりましたが、ニュータウン地域で看板を掲げて伝道のできる場所を借りることはできませんでした。そのため伝道師家族が住んでいたURの団地の一室(4階)を使用し、2001年4月15日に集会を開始しました。2002年に「今年こそは看板が出せる集会場」と祈つておりましたが、早々に祈りの答えをいただきました。新築されたアパートを借りて2月3日に開所式を行い、翌日曜日から正式な礼拝が始まりました。場所はニュータウンから少し外れた街道

沿いです。開所後、他教会から転入会者が与えられ、教勢が伸びていきました。しかし開所4年目に入り、教勢が次第に落ちてきました。そんな中、2006年10月に長い間の祈りであつた千葉ニュータウン地区内に看板を掲げることでの開き会堂と自宅兼用の一戸建ての物件を借りることができました。2009年4月には新たに兄弟が加わりました。そして2017年7月2日、佐倉教会の臨時総会の決議を経て独立に至りました。

千葉ニュータウンは規制があり、伝道の難しい場所と言われていますが、日本などの場所においても難しさは変わらないと思います。千葉ニュータウン教会は小さな弱い群れですが、独立に伴い、主が祝福を与えて下さることを信じております。教会成長の鍵は、イエス様のご命令に従い、福音宣教の働きを進めていくことです。先ず核となる信徒が与えられる切に祈り求めております。主に喜ばれる教会形成を目指し、主にお仕えしていきたいと思います。これからも主にあるお交わりを宜しくお願ひ致します。



千葉ニュータウン教会の兄姉方

column 身体の健康管理の勧め②

愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているように
すべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。

上記の御言葉（ヨハネの手紙 第三二節）は、ヨハネがガイオの健康にも気を使い、祈っている箇所です。私たちも普段の祈りのなかで、悩み、不安、自分の弱さを祈ることはもちろんですが、健康について祈ることも多いのではないかでしょうか。（…下記に続きます）



奥村 幸則

鍼灸院おくむら 院長

清水聖書バプテスト教会
教員

神様が与えてくださったこの身体ですが、生まれながらに丈夫な身体を与えるが、特別な努力をせずとも健康な方もあります。しかし、病弱で相当な苦労をされている方もあり、個人差が大きいことは否めません。しかし、熱い思いで十年後も二十年後も、素晴らしい主の福音を宣べ伝えていたくためには、少し努力と工夫を必要とします。病気にならないという視点ではなく、「元気に」主のために働きを続けていくという視点で、生活習慣を中心と考えてみたいと思います。

■まずは健康診断から

まずは健康診断を受けて現状を確認してください（このことについては高木兄が書かれている前回のこのコラムを参照してください）。問診や、尿検査、血液検査、レントゲンなどの画像診断などで客観的に自分の健康状態を確認してみましょう。そこで、早期に病気や体調不良の原因が発見されれば、治療を始めていたくのはもちろんですが、検査の結果メタボ気味、血圧高め、肝数値高め等の病気予備軍的な方も多いのではないでしょうか。「今回は、治療や投薬の必要はありませんが、注意が必要です」とか、「しばらく様子を見ましょ」と言われた場合、なんとなくまだ大丈夫かなと自分に都合よく解釈しがちですが、



■朝の習慣

朝起きてぼんやりしたまま朝食をとう方も多いかかもしれません。美味しい食事は、愛情を持って作ってくださる人のさじ加減だけで決まるのではなく、もう少し食べる人の準備や工夫を必要とします。いつもより一品加えられたおかずには小さな幸せを感じることもありますがそれよりも、丁寧に整えられた食卓や、お気に入りの器で食べる時や、楽しい会話とともに食事が進むときには、いつもの朝食が単に栄養の摂取から別の意味を持ち始めます。見て楽しみ、香りで食欲をそそられ味わう時に、より一層美味しく感じられるとともに、今日の一日を明るい希望とやる気に満ちた前向きな気持ちで過ごそうとする何かが、少しずつ沸き起こってきます。そしてもう一つ大事なことがあります。それは、空腹であることです。どんな食事が用意されいても大好物であっても、その時に空腹で食欲がなければ、美味しいいたくことはできません。学生時代の遠足の、普段と変わった時、「あなたは病気予備軍です」と言われた時、日常生活の何に

氣をつければいいのでしょうか？それは「食事」と「運動」の二つの生活習慣です（一般的には、飲酒、喫煙習慣も含みます）。これらの習慣次第では、生活習慣病を予防し、改善していくことも可能ですが、健康を保つためには是非、見直していくべきところもあります。通常、食事習慣で問題になるのは、栄養バランス、摂取カロリー、味の濃さやよく噛んでいるか、食事をした時間や、食事にかける時間や食べる量や回数などですが、その辺りは専門書にお任せして今日は朝の過ごし方から考えてみたいと思います。



朝の習慣を見直すことによつて、「時間の問題」から「健康管理された状態」に向かへ少しずつ身体が改善されていくことが期待できます。

個人的にはさらに、食事の作り手側から見えた時、作りがいのある食べ方とそうでない食べ方があると思つていて、それが期待できます。

朝の習慣を見直すことによつて、「時間の問題」から「健康管理された状態」に向かへ少しずつ身体が改善されていくことが期待できます。

個人的にはさらに、食事の作り手側から見えた時、作りがいのある食べ方とそうでない食べ方があると思つていて、それが期待できます。

祈りの課題

■ 横浜聖書バプテスト教会 つくば伝道所(山宮利忠師)

つくば伝道所の為に祈りに加えていただいていることを感謝しております。さらに以下祈りにお加え頂ければ幸いです。 ①伝道所が靈的に祝福され主が魂をお預けいただけるように ②後継者を迎えることのできる準備が出来るように ③伝道所の移転が実現するように



■ 松江聖書バプテスト教会 (柳谷徹師)

①最近来られていない兄姉の礼拝出席のため ②新来会者が来られ救いが与えられるように ③CSの子供たちの出席のため ④高齢の姉妹たちの健康のため ⑤伝道とアルバイトが両立できるように



■ 習志野バプテスト教会 流山伝道所 (青島義宣師)

①日曜学校生徒の救いと信仰の成長のため ②40年間、(丸山牧師夫妻担当)婦人集会を続け、ご家族が救われつつあります ③教員の一致と靈的成長、献身者が起こされるように ④主の御心の時に教会組織・独立できるように ⑤経済的自立と伝道師家族のため



■ 千本浜聖書バプテスト教会 (道下義嗣師)

①毎日、伝道者家族が忠実に主にお仕えできるように ②毎月、教会として課題を決め、チャレンジできるように ③毎年、救われる魂が起こされ、成長を知ることができるよう ④10年以内に独立できるように



■ 上越聖書バプテスト教会 (加治佐清也師)

①来年の独立 ②2名のバプテスマ準備会の祝福 ③夏に救われた79歳の姉がバプテスマへ導かれるように ④教会学校、キッズクラブ、中高生会の祝福 ⑤仕事や病気で礼拝出席が困難な兄姉のために ⑥教会の靈的成長と祝福



2018年

国内宣教カンファレンスのご案内



◎開催日:2018年1月4日(木)・5日(金)

◎説教テーマ:日本宣教の新しい視点 (コリント9:26)

～日本の文化的背景と靈性、宣教の現状を見据えて～

◎説教者:斎藤秀文先生(金沢聖書バプテスト教会牧師)

◎婦人集会講師:笹妙子先生(調布バプテストテンブル)

松下アンナ先生(浅間聖書バプテスト教会)

子ども集会・レクレーション(プラネタリウム、アイススケート等)もございます。

◎場所:朝霧少年野外活動センター(静岡県富士宮市)

◎参加費:2,000円(食事代のみ。交通費は例年どおり補助いたします)

1 婦人たちの集会を企画しています。牧師夫人、宣教師(婦人)、婦人伝道師の方もぜひ参加をご予定ください。

2 開拓伝道の先生だけではなく、ぜひ独立教会の先生方ご家族もご参加ください。

3 委員会では、委員会への支援献金、カンファレンス支援献金、基金指定献金を募っています。よろしくお願いいたします。

【献金先:郵便振替】

JBBF国内宣教委員会 00140-2-654375

1月4日(木)		1月5日(金)	
8:00		朝食	
9:00		婦人集会②	男性子守
10:00		分科会	
11:00			
12:00		昼食	
13:00	受付		
14:00	全体集会①	子供集会	全体集会③
15:00	オリエンテーション		解散
16:00	婦人集会①	男性子守	
17:00			
18:00	夕食		
19:00	全体集会②	子供集会	
20:00			
21:00			

このスケジュールは予定ですでの、変更があります。

上記のスケジュールは昨年のものです。若干の変更はありますが、ご参考にしてください。

国内宣教委員会では次のような働きをしています!

【基金の貸し付け】

会堂建設、会堂メンテナンス、教会車購入備品購入などのために独立教会・伝道所を問わずに最高100万円(無金利5年返済)までの融資を受け付けています。

【国保補助】

申請者に月々7千円の「国民健康保険」の補助を行っています。(対象:独立教会の伝道者・伝道所の伝道者を問いません)

【伝道費の補助】

伝道費の補助を行っています。特伝講師交通費(上限2万円)、特伝講師宿泊費(上限5千円)、トラクト作成費(上限1万円)。支援はいすれも、1年(1~12月)に1回まで。ご希望の際は会計担当の加治佐(上越)までご連絡ください。「伝道支援申請書」をお送りいたします。

【ホームページ】

国内宣教委員会の行事予定や活動報告、機関誌「かいたく」のバックナンバーなどを掲載しています。

<http://jbbfhomemission.jpn.org/>



委員会では牧師・伝道師の皆様の伝道や生活などの相談に応じています。お気軽にお問い合わせください。

【委員会メンバー】

榎本昌博(掛川)、白井清之(希望の丘)、井口拓志(立川)、加治佐清也(上越)、浜田寛(清水)

※ご婦人の場合は、それぞれの牧師夫人が相談に応じることができます。

献金振込先 (郵便振込)
00140-2-654375
J B B F 国 内 宣 教 委 員 会